

第8回/平成29年2月18日(土)

I 協議事項

1. 平成28年度補正予算(案)について
2. 規程の改正について
3. 平成28年度事業の進捗状況について
4. 平成29年度事業計画(案)について
5. 平成29年度教育計画(案)について

II 報告事項

1. 日本看護協会政策責任者会議
2. 「看護職の賃金モデル」推進事業会議
3. 平成28年度需要調査(病院・訪問看護ステーション)の結果について
4. 勤務環境改善支援センター運営会議
5. 地区支部等における高齢者および認知症患者支援のための看護職連携モデル事業(第5地区支部)の中間報告について
6. 第2回看護トップセミナーの結果について

第9回/平成29年3月18日(土)

I 報告事項

1. 日本看護協会理事会について

II 協議事項

1. 名誉会員の推薦について
2. 平成29年度通常総会提出議案について
3. 平成29年度通常総会プログラム(案)について
4. 平成29年度収支予算(案)について
5. 職員給料表の改定について
6. 平成29年度重点事業・主要事業計画(定款に基づく事業)(案)について
7. 役員候補(推薦状況)について
8. 平成29年度事務局執行体制(案)について
9. 事務局長の退任について
9. 看護功績賞・看護功労者知事表彰候補者の推薦について

『一番星見つけた!』とても読みやすい構成で内容もおもしろくてよかったです。(M.E)

興味深い内容と見やすい構成、色使いで楽しく読ませて頂きました。表紙の写真とVoiceの写真もとても素敵でした。(W.A)

アロマを取り入れることは、患者さんと接する時間も増え良いと思いました。(M.N)

研修報告を読んで、災害支援活動内容に興味を持ちました。(T.S)

編集後記

「4月に入り、桜も満開の季節となりました。各施設、各職場の皆さんもフレッシュな新入職員を迎え、新たなスタートを切られていると思います。ナースレークで今年度もホットな情報をお届けしていきます。」(永田)

一般社団法人滋賀県タクシー協会から、災害時情報収集用テレビ2台の寄贈を受けました。3月1日ホテルピアザびわ湖で行われた贈呈式には、廣原会長と梅本副会長が出席しました。

# Nurse Lake

平成29年度  
通常総会のご案内  
平成29年  
6月17日(土)  
ピアザ淡海  
滋賀県立県民交流センター

看護協会  
会員特典

## この春、乗馬にチャレンジ!

この春、気軽に新しい事にチャレンジしたい……なら、乗馬!  
女性スタッフと優しい馬がいるので、おひとり様でも安心してご利用頂けます。馬の背に揺られているだけでも、運動効果があり、穏やかな馬に癒され、リフレッシュもでき、いいことづくめ!

### ①体験乗馬1回コース (騎乗時間:約30分)

馬を歩かせたり、止めたりする中で、馬とのコミュニケーションの取り方をレッスンします。歩く揺れに慣れたら、軽く走るところまで体験出来ます。

通常5,400円 → **1,080円(税込)** ※別途、装具レンタル・保険料として1,280円要

### ②乗馬5級ライセンス取得コース

(2ヶ月以内3日間、計10レッスン)

馬を歩かせるところから、左右の方向転換、馬のリズムに合わせて軽く走るところまで、乗馬の基本をマスターします。ライセンスを取ると、森林や草原、海岸コースなど、日本各地の外乗コースをレベルに応じて楽しむ事が出来ます。

通常43,200円 → **10,800円(税込)** ※別途、装具レンタル・保険料・申請料・テキスト代として15,288円要



- ★対象:小学3年生以上、体重80kgまで
- ★紙面持参で2名様まで有効
- ★JR能登川駅より送迎あり(要予約)

M&S乗馬クラブ TEL.0748-25-5940

滋賀県東近江市建部下野町16-1/動物取引業登録済 完全予約制/火曜定休

実施期限 平成29年6月30日迄  
※ライセンスコースは初回受講日



ぐっすりの眠りが、今日の輝きが変わる。

EDEL

2016-17 collection

デオホワイル加工羽毛を採用した  
ゴア®羽毛ふとんで  
さらに清潔で安心の眠りを。

TUK 東洋羽毛東海販売株式会社  
三重営業所 TEL 0120-585104  
〒514-0003 三重県津市桜橋 3-67-13  
～お気軽にお問い合わせください～



写真:大津市琵琶湖疏水にて(撮影:Y.Sさん)



CONTENTS

- 一番星見つけた! 『地域包括ケア時代』を支える統括保健師の活動…2~3
- WLB推進フォローアップワークショップ開催……………4
- 看護師職能I・II委員会報告……………5
- Voice ~これからの看護職に期待すること~……………6
- 認定看護管理者委員会(特別委員会)の活動について…6

- 専任教員養成講習会を終えて……………7
- 准看護師研修で体験談を発表して……………7
- 滋賀県看護学会(演題募集)のお知らせ……………8
- 医療安全通信……………9
- ナースセンターだより/はたさぼ通信……………10~11
- こんにちは!事務局です/会員の声/編集後記……………12

発行所 ●公益社団法人 滋賀県看護協会  
発行責任者 ●会長 廣原恵子  
〒525-0032 滋賀県草津市大路二丁目11番51号  
TEL.077-564-6468 FAX.077-562-8998  
http://shiga-kango.jp/

モバイルサイト



滋賀県看護協会

検索

滋賀県看護協会会員数(平成29年3月5日現在)

保健師/ 331人 助産師/ 256人 合計 8,072人  
看護師/ 7,262人 准看護師/ 223人

# 一番星★ 見つけた!

## 『地域包括ケア時代』を支える 統括保健師の活動



小川薫子氏 田中みどり氏

平成24年4月厚生労働省健康局長から「地域における保健師の保健活動について（平成25年4月19日付健発0419第1号）」が通知され、「地域における保健師の保健活動に関する指針」が示されました。

滋賀県では、この保健師活動指針を基本として、滋賀県の保健師活動のめざす姿を「地域に責任を持つ保健師活動」としました。これを実現するために、地区担当制の導入、統括保健師の配置、体系的人材育成を3つの柱とし、実践のためのマニュアルとして「滋賀県保健師活動指針」を作成しています。

今回は、地域の保健活動を支える統括保健師の活動について、草津市健康福祉部の小川薫子氏、健康増進課の田中みどり氏にお話を伺いました。

### 統括保健師とは？

自治体において様々な部署に配置されている保健師を専門的側面から組織横断的に調整・支援し、地域全体の健康水準の向上を図ることのできる環境・体制を整える保健師です。

### 統括保健師が位置づけられた背景は？

以前は保健師が中心となって地域の健康課題を見極め改善するための活動をおこなってきました。

しかし、市町村合併等、保健活動をめぐる情勢は大きく変化し、複雑化・多様化する地域住民の健康ニーズに対し、より高度な実践が求められるようになり、これに対応するため、母子・成人・高齢者等より専門分野別の配置が進み、法律に基づいた事業が先行する傾向が強くなりました。

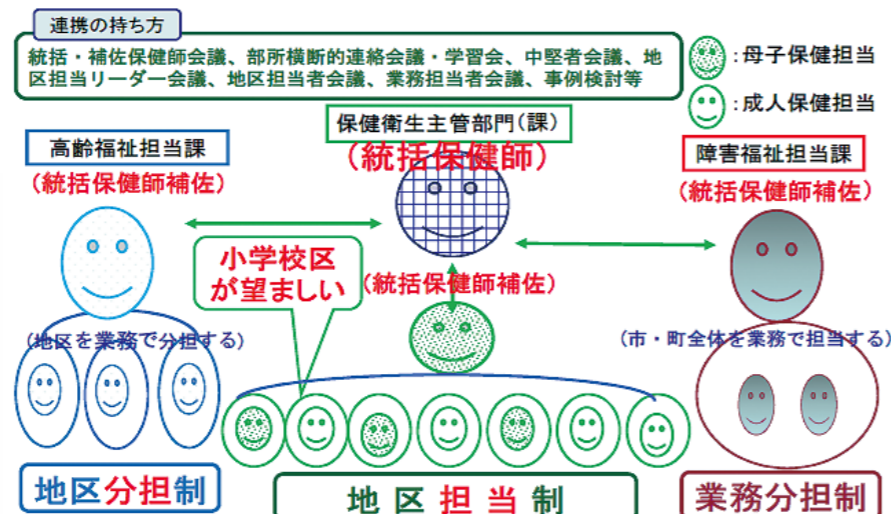
そこで、それぞれの分野で進めている活動を総合的にまとめていくこ

とが求められ、対人支援や地域づくりといった本来の保健師活動の形で、健康課題を組織横断的に捉え、保健活動を総合的にまとめ、専門性に基づき牽引する統括保健師の役割が必要になってきました。

### 統括保健師の主な役割

- 保健活動の総合調整および支援
- 事業の企画立案、予算の確保、事業の評価
- 保健師の人材確保、人材育成
- 災害時の保健活動の連絡および調整
- 保健師の保健活動に関する調査および研究 など…

### 統括保健師の役割(分散配置と地区担当制)



《活動推進体制「滋賀県保健師活動指針」より抜粋》



## 会長のあいさつ

### 新年度開始にあたり

日頃は、看護協会の事業にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

2025年の医療・介護提供体制の見直しに向けた議論や地域医療構想のもと、病床機能の分化や在宅医療の推進、地域包括ケアシステムの構築に向けた検討が進んでいるところです。

29年度は、30年度に向けた第7次保健医療計画や介護保険事業(支援)計画の策定、診療報酬と介護報酬の同時改



公益社団法人  
滋賀県看護協会  
会長 廣原 恵子

定に向けた議論が進み、看護においても「働き方ビジョンを踏まえた教育内容の検討」が開始され、まさに激動の年になると言われています。

会員の皆さまの各施設におかれましては、新人看護職員等を迎えられ、新たな気持ちで29年度事業を開始されたことと思います。どの施設においても、多くの課題があるかと思いますが、各人の看護観を大切に、日本看護協会が示したあらゆる場の看護実践能力として必要な4つの力(ニードをとらえる力、ケアする力、協働する力、意思決定を支える力)を少し意識して、対象者(ケアの受け手)に笑顔と自立をもたらすぬくもりのある看護を届けていきましょう。

### ◎ 主な活動内容は？

#### ■ 保健師会議の開催(月1回)

#### ■ リーダー保健師会議の開催(月1回)

保健師同士で話をする中で、お互いの顔が知れたり、みんなで考えたりする機会が増えました。日々の保健師活動を振り返ることで地域課題が見えてきます。どういう思いで活動しているか、それぞれの思いや、「こんな活動をしたい!」という思いも聞くことができるようになり、大変ですが楽しく活動しています。

#### ■ 人材育成

新任保健師・中堅者保健師育成ガイドラインの自己評価に基づき個人面談を行っています。自分のキャリアに応じた内容で、実践に活かせる研修への参加を促しています。保健所管内での研究発表や県公衆衛生学会で発表も行っています。業務量が多く、研修に参加することが難しい現状であり、事業をこなすことで精一杯になりがちであるなかで、研修や学会に参加し、「何のためにやったのか」など自分の活動の本質を振り返る場としてほしいと思います。

#### ■ 人材確保

どこにどれだけの保健師が必要か考え、市全体として人材確保ができるようにします。

### ◎ 今後の課題・展望は？

■ 身体・精神・社会的にも健康、年をとっても病気や障害があっても健康という視点で目標をはっきりさせておくことが大切で、行政の中の保健師であるため、どこに配属されても同じ目標を持って取り組めるためにも統括保健師は必要であると考えます。また、行政として求められるものは施策化であり、その中で専門能力を発揮していくことが必要です。そのためには人材育成、現任教育が重要です。



幼児健診の様子

■ 縦割りの行政の中では、地域の中にある分野をまたぐ健康課題に横断的・包括的に関わることが弱いと感じています。そこで今年度から地域担当制を導入して地域住民や関係者からの相談に応じながら、顔の見える関係づくりを行い、課題の解決に向けて一緒に考え、活動ができるようにしていきたいと思います。

■ 他の市町の保健師との思いを共有できる場や情報交換する機会として看護協会での研修や情報交換の場はもっとあってほしいと思います。保健師同士、統括保健師同士、中堅保健師同士の集まりは必要だと思っています。

■ 平常時から防災に関するマニュアル作りを行うなど災害時情報が錯そうしないよう対策強化をしていくことが課題です。

### ～取材をとおして～

地域の人々の健康の維持増進のために、様々な活動をされており、またそれを統括している統括保健師さんの話を聞くことができ、とても重要な役割を担っておられることがわかりました。また多職種連携の大切さを改めて感じました。(広報委員 永田、坂口、大井)

【平成28年度】

# 看護職のWLB推進 フォローアップワークショップを開催

●開催日：平成29年1月26日 ●会場：滋賀県看護研修センター



フォローアップワークショップに参加された6施設に委員会作成の質問に答えていただきました。

## 1年目アンケートより ①JCHO滋賀病院 / ②南草津病院

### Q アクションプランの取り組み内容について

①WLB推進プロジェクトチームの設置と病院幹部会議での承認をうけ活動開始宣言を行う／インデックス調査から見た組織の特徴と今後の取り組みについて、寺子屋方式で職員へメッセージを伝えた

②WLB推進の職員への周知／利用できる制度の周知とパンフレット作成への取り組み／休暇制度の見直し

### Q 施設内のWLB推進委員会の構成メンバーを教えてください

①看護師長会＋各部署スタッフ1名によるHappyらいふ委員会と院内委員会(副院長・総務課・業務課・PT・MSW・

医事課)のコラボで『WLB推進プロジェクトチーム』を結成  
②看護部として取り組む。委員は師長・主任から選出。総務課長が委員会に参加。1回/週開催

### Q ワークショップに参加して良かった点、変化した点

①他施設とのずれがないか確認することができた。自施設の視点にない内容や分析や取り組みなどが非常に参考になった。病院・看護部でWLBという言葉が定着してきたように感じ、楽しんで取り組んでいることが変化した点である

②働きやすい環境作りや業務上の課題・改善すべき方向性が浮き彫りになった

## 2年目アンケートより ③今津病院 / ④近江温泉病院

### Q アクションプランの進捗状況

③ホームページの更新、パンフレット変更、ボランティアの導入はこれから実施予定／7日程度の長期休暇取得をH29年1月より実施

④2年目の取り組みとして始めたばかり

### Q WLBを振り返り発見できたこと

③各部署で看護を振り返り、病院の地域でのミッションを考えることができた

④インデックス調査の分析

### Q WLBを振り返り楽しかったこと

③お互いを知る機会となり、病院部署の事をじっくり話し合うことができた

④他施設の発表を聞くことにより、自施設だけの問題でないことに気づき取り組みを参考にできることが多々あった

### Q WLBを振り返り難しかったこと

③インデックス調査の分析・看護職員への周知

④インデックス調査のデータ分析が深くできていないので取り組みに影響していると思う

### Q ワークショップに取り組んで良かった点、変化した点

③WLBが浸透しているという実感を職員が持っているように思う

④看護部内だけでなく他部署へのアピールができたことは職員自身の意識の変化につながった

## 3年目アンケートより ⑤高島市民病院 / ⑥近江八幡市立総合医療センター

### Q 3年後のゴール達成度はどの程度でしたか

⑤順調に進行中

⑥目標達成率は77.8%、2年目から推進委員、看護長会、看護部WLB委員の3つのトライアングルで組織として取り組んだことにより良い結果につながった

### Q 今後どのような課題に取り組んでいきますか

⑥インデックス調査を続ける

⑦看護師確保として、ホームページの更新、看護部キャッチコピーを考える、職員の子供を対象とした院内職場見学／子育て支援として、台風等による臨時休校時の学童保育、委託事業所(保育)交渉、看護補助者に対するWLBを考える／制度の周知とし

て、3年間のWLB取り組み評価とまとめ(アンケート)

### Q 今後取り組まれる施設への応援メッセージ

⑥スタッフには負担をかけない。管理職が元気なこと  
⑦実動部隊として実践にともなう組織づくりをして、職員全員が一丸となって目標を同じくして頑張っていたきたい



## 委員会活動報告

# 看護師職能I委員会(病院領域)

委員長 奥野 佐千子

## 看護師職能集会を開催しました!

「看護実践能力の見える化ーすべての看護師に共通するクリニカルラダーを理解しよう」をテーマに、平成29年2月11日に看護師職能委員会I・II合同企画として、平成28年度看護師職能集会を開催しました。

日本看護協会が2025年にむけた看護ビジョンで表明された「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護実践能力の強化」のため「看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版)」を理解し活用するために、それぞれの看護現場で活用のイメージができることをねらいとしました。当日は降雪の悪天候にも関わらず、県内の病院等から118名、福祉施設や訪問看護ステーションの看護師19名、職能委員等を含め総勢159名の参加で、盛大に交流会を開催することができました。

日本看護協会常任理事の川本利恵子先生に基調講演として「あらゆる看護師にもとめられている看護のあり方ー看護師のクリニカルラダーの活用方法についてー」の後、「クリニカルラダーを理解し活用するために、具体的に何をしていくべきかを考える」をテーマにグループワークを行いました。

ラダーを知らない、これからラダーを導入する、職場で既にラダーの仕組みがあり日本看護協会のラダー

と組み合わせを検討している等、様々な意見がでました。あらゆる看護師に求められている看護実践能力の4つの力とは何か、また准看護師へのラダーの考え方等の質問があり活発な意見交換ができました。

参加された方々が、それぞれの現場で求められる看護の質の向上にむけて、看護師一人ひとりの看護実践能力を高めるためにクリニカルラダーが活用されることを期待しています。



# 看護師職能II委員会(介護・福祉関係施設・在宅等領域) 委員長 日置 千津子

会員の皆様、こんにちは!

看護師職能委員会IIの活動報告をさせて頂く機会を頂きありがとうございます。

当委員会は、平成24年度に委員会を発足し、小規模施設等(介護・福祉関係施設・在宅等領域)で働く看護師を対象に活動しています。

毎年、在宅療養を支援する看護職の人材育成や看護師職能委員会IIの活動内容の周知および会員確保を目的にアンケート調査や研修会を開催しています。

平成28年度は、県民公開講座(一般市民、介護職等含)、診療所で働く看護師を対象にした感染実践研修

会、施設看護管理者研修会を開催しました。

近年は2025年問題を背景とし、地域包括ケアシステムの導入が叫ばれ、医療依存度の高い方々を在宅で支えていくために看護師の更なる専門性の向上および各職種間の連携強化が求められています。

これらのことを踏まえ、看護師職能委員会IIの活動内容の周知および会員確保は勿論のこと、看看連携・多職種連携を活動の軸に置き、展開していきたいと考えています。

会員の皆様のご協力をお願い致します。



昨年は、熊本地震をはじめ、鳥取中部地震、その他台風による土砂災害など、さまざまな自然災害が相次いで発生し、現在も避難生活を余儀なくされている方々がおられます。このような場合、被災状況に応じて災害医療支援チームが出勤することになります。DMAT（災害派遣医療チーム）は主に発災直後から約3日間の急性期に活動し、JMAT（日本医師会災害医療チーム）がその後現地の医療体制が整うまでの期間を支援することになります。いずれのチームも、医師と看護師が必須の構成員であり、東日本大震災や熊本地震などの大規模災

害時に多くの方々が活躍くださいました。災害はいつ起こるか分かりません。滋賀県でも琵琶湖西岸断層帯、花折断層帯を震源とする地震を心配する方が多いと思われます。

私も滋賀県医師会も平素より、所属会員に対し、災害時の医療救護活動への協力を呼びかけておりますが、看護協会会員の皆様におかれましても、いざと言う時に備えるためのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



滋賀県医師会 会長  
猪飼 剛 様

### 特別委員会

## 認定看護管理者委員会の活動について

副委員長 西井 美恵子

急速な少子高齢多死社会の到来、社会保障制度改革等、医療・介護・福祉を取り巻く環境が目まぐるしく変化しています。

臨床現場も看護業務の難易度が高くなり、今まで以上に看護実践能力の向上が求められ、看護師長の教育的能力などを含むマネジメント能力がより重要になってきています。

また、地域連携を推進するために、医療機関間・地域において顔の見える看護の継続が重要であり、看護管理者のネットワークによる情報交換と課題の共有、各地域の特性に応じた取り組みを検討していくことが必要です。

そこで、滋賀県看護協会では、平成26年度より、重点事業として看護実践能力の強化を挙げ、「マネジメント能力開発のための看護管理者ネットワークの推進事業」を進めました。①「事前打ち合わせの会議」/②「トップセミナー」/③「顔の見える関係づくりに関する調査」を実施し、結果から看護管理者のネットワーク会の設置や医療圏域内における保健師との意見交換、地域包括ケアシステム構築には行政との連携が必要であり、関係者会議に看護管理者が参画するなどの5つの提言をまとめました。

平成27年度は「地域医療連携推進のための看護管理

者の顔の見える関係づくり構築事業」を進め、「滋賀県認定看護管理者委員会」特別委員会（以下、委員会とする）を設置しました。目的は認定看護管理者のネットワークを構築、看護管理の現状を把握・分析し問題・課題を明らかにし質の高い組織的看護サービスの提供です。38名のCAN（認定看護管理者）が地域包括ケアにおいて、キーパーソンとして活躍しなければなりません。

平成28年度は具体的な動きを進め、委員会の開催、認定看護管理者のネットワーク会議を開催し、自施設における管理上の課題を共有し、看護管理に携わる人の質の向上について意見交換し、得られた内容を研修会に反映しています。管理者対象に「これからの看護管理者をどう育成するか」をテーマに河野秀一氏に講演を、師長対象に「組織がめざす成果と質の高い看護の提供のために一問題解決能力を身につけよう」をテーマに小林亜美氏の講演ののち、自己の課題を解決する一助とするために他施設を訪問し他機関との交流も目的にしました。

認定看護管理者として、滋賀県の特性を見極め、各医療機関の特徴や専門性を把握し、保健師・助産師・看護師の専門性を越えて、この事業を推進し、実績を踏まえて政策提言できるような取り組みをしていきたいと思

### 広報委員会からのお知らせ

## 投稿大募集!!

「一番星見つけた! (輝いている人)」「表紙の写真」「会員の声 (ご意見・ご感想)」に投稿をお待ちしています。とりあげてほしい内容でもけっこうです。広報委員が取材に行きます。ふるってご応募ください。詳しくは、ホームページ「委員会からのお知らせ」をクリック! (次回発行は7月上旬予定です)

### 当選者発表

『羽毛クッション』プレゼント当選者発表! 投稿していただいた方の中から、3名の方に決定しました。大津市 U.Tさん、守山市 T.Sさん、大津市 M.Eさんです。おめでとうございます。

## 平成28年度 専任教員養成講習会を終えて

大津赤十字病院 長野 治美

私は、平成28年度滋賀県看護教員養成講習会に参加し、看護教員に必要な知識や技術、そして様々な教授方法を学ぶことができました。

特に印象に残っていることは、グループワークと実習です。グループワークでは、各人が持つ様々な意見や考え方を一つにまとめていく過程の難しさを感じましたが、大きな達成感を得ることができました。また3週間に及んだ実習

では、実際に学生の前で講義や実習指導を行う中で、3観（学生観・教材観・指導観）の重要性と、看護教員という職業の素晴らしさを感じ、学ぶことができました。

講習会全体を通し、大変だと思ふことが多かったですが、様々な学習体験から、今までの私の中にあつた教育に対する変

革を起こし、更に確固たる基礎を築くことができ、とても充実した9か月でした。また、ともに学んだ講習生との出会いは、何よりの糧となっています。

今回の講習会で学んだことを活かし、学習者の学ぶ権利を保障し、学ぶ環境を整え、看護実践能力を有した看護師育成に向けて、看護教員として自己研鑽を続けていきたいと思



## 准看護師研修会で体験談を発表して

医療法人弘英会 琵琶湖大橋病院 透析センターリーダー 玉木 幸子

今回、私の体験談がお役に立てるものなのか、正直悩みましたが、当時の私もそうであったように誰かの後押しや何か進学に至るきっかけがあつてこそ一歩踏み出せたと思ひます。そのようなきっかけづくりの一躍を担うことができたと考え、進学に至る前から現在に至るまでの経過や当時と今の思いについてお話をさせて頂きました。

研修会では進学に対する思いがある方が参加されていたこともあり、准看護師としてのジレンマ（給料形態、職場環境など）は参加された方の共通認識で、当時の私も同じジレンマを抱えていました。そのジレンマを改善するために

も進学が有効的であり、また看護師になることで、准看護師では不可能であった世界（認定看護師や専門看護師、スキルアップなど）も開くことができることや今まで私自身が思っていたことを私自身の言葉でお話することができ、参加された方の意見や感想を聞かせて頂くと、進学に対する一歩を踏み出すためのきっかけづくりになったのではないかと考えます。今回の発表は私自身も進学して、看護師になってよかったと改めて実感した研修会でした。

このような貴重な体験をさせてくださり、本当にありがとうございました。

平成29年度 滋賀県看護学会のお知らせ

# 魅える看護の発展

～ doing 人と未来(あす)をつむぐ～

滋賀県看護学会は、一昨年に引き続き、地域包括看護を題材に企画いたしました。今回は初めて、地域住民と一緒に、それぞれの立場・役割を考える機会にしたいと考え、市民公開講座を開催します。

月日 **平成29年12月7日(木)**

場所 **ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター**

プログラム

- 研究報告・実践報告(口演・示説)
- 交流集会
- 基調講演  
「地域医療の魅力 ～最期まで元気に生きる～」  
講師: 調整中
- シンポジウム  
「doing 人と未来(あす)をつむぐ」

平成27年度開催のようす



**ただ今、演題募集中!! 多数の演題をお待ちしています。** 《演題募集締切》 **5月26日(金)**

※詳しくは協会ホームページ、または「平成29年度 教育計画」冊子をご確認ください。

## 新たな教育体系に変わりました!

滋賀県看護協会では、教育検討委員会において教育体系の見直しをおこないました。また、各職能のラダーが開発されていますが、教育委員会では、平成28年度に日本看護協会が公表した「看護師のクリニカルラダー」をふまえ、教育計画を企画しました。詳しくは、教育計画冊子・ホームページでご確認ください。研修会へのご参加をお待ちしております。

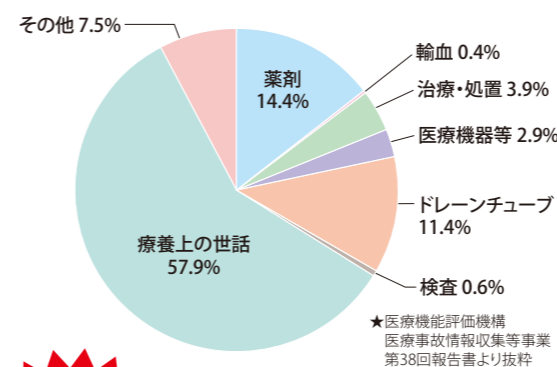


## 新人看護師の傾向を理解しておこう!

新年度が始まりました。多くの職場では、新人看護師さんを迎え入れ、新たな看護の力を得ると同時に、慣れない看護業務を支えあう季節がやってきました。

皆様の施設がより安全な看護が実施できるように、今回は、新人看護師が経験する医療事故傾向とリスクの大きい薬剤の情報を提供します。

職種経験1年未満の看護師・准看護師



1年未満の看護師等の医療事故報告は、「療養上の世話」が約60%、次いで「薬剤」・「ドレーンチューブ」の占める割合が多いです。ヒヤリハット報告では、「薬剤」が全体の60%を占めていることから、薬剤に関する安全教育が重要になります。

これらの項目は、5月から報告件数が多い傾向にあるので、特に重大な事故に繋がりがやすい注射薬剤については、早期から各施設で取り扱う「ハイリスク薬剤知識」を持ち、「6Rでの薬剤の確認」等で医療の安全確保を行いましょう。

取り扱う薬剤のラベルや添付文書に「ゆっくり」と「緩徐に」「〇〇を超えない速度で」「〇〇以上の時間をかけて」など、速度に関する記載がされている場合は、万全の注意を払いましよう。

## あっ! 『静脈注射の投与方法間違い』 《入職2ヶ月後の新人看護師の医療事故》

ヘパリン2万単位・生理食塩水30ml(総量50ml)をシリンジポンプで2ml/hで持続投与していた。更新分のヘパリンをリーダー看護師と新人看護師の2名で処方箋と確認し別の看護師がミキシングした。新人看護師が処置台の上を担当患者の薬剤が残っていたためベットサイドに持参し、患者に「血をサラサラにする薬を注射します」と声をかけ患者確認をし、50ml全量を静脈注射してしまった。この事例に対する改善策は4つ立てられています。詳しくは、医療事故情報収集等事業第38回報告書P114を参考にしてください。このような新人の医療事故を防ぐために、自施設の新人看護師教育計画の中で静脈注射の実施基準について再確認しておきましょう。

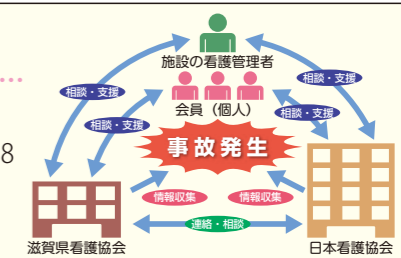


### ■注射実施時に知っておくべき注射薬の知識

ワンショット静注してはならない薬剤	高濃度カリウム製剤、高張食塩水注射薬、アミノ配合体系抗生剤、ドーパミン、ドブタミン等
投与速度の間違いで呼吸抑制の危険がある薬剤	鎮静作用がある薬剤(塩酸モルヒネ、ドルミカム、セルシンやホリゾン、プロポフォール等)
急速過量投与により重篤な副作用や生命の危険が生じる薬剤	カテコールアミン系強心・昇圧薬、血管拡張薬、降圧薬、不整脈薬、抗痙攣薬、麻薬、気管支ぜんそく薬、カリウム製剤
同じ薬品名で薬効・用法が異なる薬剤	キシロカイン(抗不整脈薬と局所麻酔薬)、ピソルボン(吸入薬と注射薬)
特殊な単位の薬剤	カリウム(mEq)、インスリン・ヘパリン(単位)、インターフェロン(国際単位)
同じ薬品名で薬効・用法が異なる薬剤	キシロカイン(抗不整脈薬と局所麻酔薬)ピソルボン(吸入薬と注射薬)
アレルギー反応をおこしやすい薬剤	ペニシリン系・セフェム系抗生剤、抗ウイルス剤、造影剤、局所麻酔薬

### 医療安全相談窓口

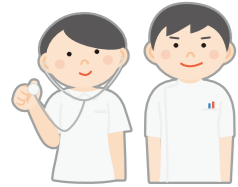
- 受付時間：9時30分～16時(平日のみ)
- 場 所：滋賀県看護研修センター内 TEL.077-564-6468 / FAX.077-562-8998
- 担 当：看護協会長・常務理事・医療安全推進委員(適宜)
- 方 法：電話相談・来訪相談・FAX相談



# ナースセンターだより



## 「看護フェア2017」を開催します



今年度は、右記の内容を企画しています。たくさんの方のご参加をお待ちしています。是非、お越し下さい!!



**看護フェア 2017**  
- 看護の心を、みんなの心に -

平成29年  
**5月14日**  
11:00~15:00  
**A・SQUARE**  
(SARA南館中央イベント広場)  
〒525-0025 滋賀県草津市西沢川11-25-1

★テーマ★  
「看護の力で 滋養を元気に!!」

どなたでも参加無料

各種コーナー

- ナースに变身  
あまね! プチナースに变身して写真撮影しよう!
- 心臓マッサージ AED体験  
いざという時のために!
- 災害用品の展示  
作ってみよう! 災害グッズ
- 看護職お仕事・進学相談  
看護職、看護教員による相談
- 健康に関する相談  
看護職による 認知症、介護、メタボチェック等相談
- プレママママ相談  
赤ちゃん産後、産後による相談

主催 / 滋賀県、公設社団法人滋賀県看護協会  
後援 / 一般社団法人滋賀県医師会、一般社団法人滋賀県歯科医師会、一般社団法人滋賀県薬剤師会、一般社団法人滋賀県理学療法士会、一般社団法人滋賀県作業療法士会、社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会、公設社団法人滋賀県理学療法士会  
共催 / 滋賀県看護学校協議会  
お問い合わせ先 / 公設社団法人滋賀県看護協会 〒525-0032 草津市大津二丁目11番51号 TEL (077) 564-9494

### お知らせ

### リスタートナースサポート研修

ナースセンターでは、未就業で就職を希望されている看護職の方に、少しでも不安なく訪問看護ステーション・介護福祉施設への再就職をしていただけるような研修を予定しています。

#### ●開催予定時期と会場

- 5月開催予定……草津看護研修センター
- 9月開催予定……彦根くすのきセンター

※詳細が決まりましたら滋賀県看護協会ホームページに掲載いたします。



### 就職フェア2016 in しが

平成29年2月15日(水) クサツエストピアホテルにて開催しました。

開催しました

今年度は、求人施設66（病院36施設と訪問看護ステーション・介護福祉施設・医院等30施設）が一同に集り、137名の求職者の参加がありました。

1人でも多くの看護職の方が看護の力を発揮して下さることを願っています。



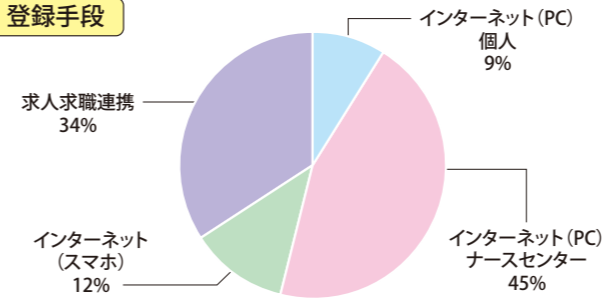
## 『看護職の届出制度』



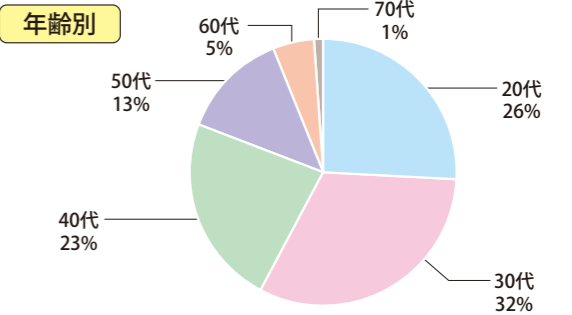
「とどけるん」QRコード

平成27年10月開始以来の滋賀県内の届出者は868名（平成29年2月下旬現在）です。退職された方、看護職の仕事に就いておられない方は、ナースセンターに届出をお願い致します。

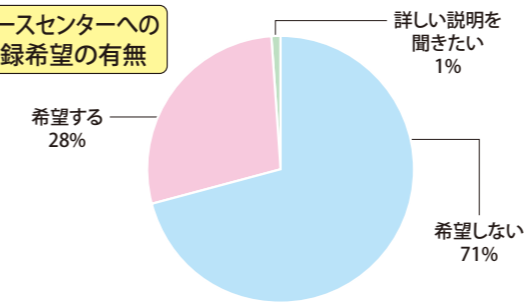
### 登録手段



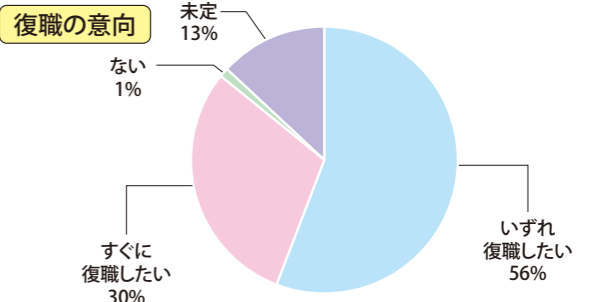
### 年齢別



### eナースセンターへの登録希望の有無



### 復職の意向



お問い合わせ 滋賀県ナースセンター Tel.077-564-9494 / FAX:077-562-8998 / E-mail:shiga@nurse-center.net

SHIGA! はたはぽ通信  
就業コーディネーター | 松波典代

## 『潜在看護師さんの就業に期待がかかっています!』



新たな年度が始まり、ニューフェイスと共に目標に向かい活動を始められた方が多いことと思います。

昨年度から、就業コーディネーターを担当し多くの方に支えていただき感謝いたします。そんな中で、就業をお手伝いした方々も自分に合った職場に4月から就職され期待と不安で緊張されていることでしょう。医療・看護・介護・福祉の未来を支える看護職として様々な現場での活躍を応援しています。

ナースセンターでは、在宅医療の現場で就業をお考えの潜在看護師さんを対象に、研修会を開催しています。復職したいけれど潜在期間が長く不安がある方にお勧めの研修です。昨年度は3回開催し受講者49名中、約半数の方が就業されました。講師は、

県内で活躍中のスペシャリストにお願いしました。施設実習は、受講者が希望された施設で、丁寧な指導を受け再就職への自信となっています。

高齢社会を支える看護職はまだ不足しています。

今年度も、資格を持ちながら職についていない潜在看護師の就業支援や届出制度を活用した人材確保に努めますので、引き続き、皆様方のご支援ご協力をお願いいたします。



技術研修は少し緊張



薬の知識を学ぼう!